

# 102-32

## 問題文

K<sup>+</sup> チャネル開口作用と分子内からの一酸化窒素(NO)遊離作用を併せもつ狭心症治療薬はどれか。1つ選べ。

1. ニコランジル
2. ベプリジル
3. ミノキシジル
4. グリベンクラミド
5. 硝酸イソソルビド

---

## 解答

1

## 解説

選択肢 1 は、正しい選択肢です。

選択肢 2 ですが

ベプリジルは、クラスIV抗不整脈薬の一つです。Ca チャネルだけでなく非特異的に、様々なチャネル遮断作用を示します。遮断なので、K<sup>+</sup> チャネル開口ではありませんし、NO 遊離作用也没有ありません。

選択肢 3 ですが

ミノキシジルは、リアップの有効成分です。発毛用外用薬です。狭心症治療薬では、ありません。

選択肢 4 ですが

グリベンクラミドは、SU (sulfonylurea:スルホニル尿素) 薬です。膵臓のβ細胞膜のSU 受容体に結合します。SU 受容体結合の後、ATP 依存性 K<sup>+</sup> チャネルが閉じる → 膜の脱分極 → 膜電位依存性 Ca<sup>2+</sup> チャネルが開く → 細胞内 Ca<sup>2+</sup> 濃度が上昇 → インスリン分泌が促進という流れを経ます。

選択肢 5 ですが

硝酸イソソルビドは狭心症治療薬です。分子内からの NO 遊離作用を持ちます。しかし、K<sup>+</sup> チャネル開口作用はありません。

以上より、正解は 1 です。

類題   、 、 、 、 、